

これからの社会を担うあなたへ

～「消費者」としての権利と責任～

消費者の8つの権利

安心して豊かな消費生活を営むために、基本的な需要が満たされる権利、健康的な環境が確保される権利の2つの他に、以下の6つの「消費者の権利」が尊重されています。

ワーク それぞれの「権利」とつながりが深い事例をつないでみましょう

- ①安全が確保される権利 ● ● ア、学校でお金の使い方やクーリング・オフ制度について学ぶことができる。
- ②選択の機会が確保される権利 ● ● イ、消費者が商品の購入時に判断を誤らないように、ネットショップには、返品特約等を明確に広告する義務がある。
- ③被害が救済される権利 ● ● ウ、予算の範囲内で、自分が欲しい物を自由に買うことができる。
- ④情報が提供される権利 ● ● エ、カラーコンタクトは、使用者の安全確保のために「高度管理医療機器」として薬事法に基づく販売規制がなされている。
- ⑤意見が反映される権利 ● ● オ、公園の遊具の使用に危険性があったので地方自治体に連絡したら、安全なものに改善された。
- ⑥消費者教育の機会が提供される権利 ● ● カ、悪質商法等の消費者トラブルに巻き込まれてしまった時は、消費生活センターに相談ができる。

消費者の5つの責任

権利を獲得する表裏の関係として、私たちは「消費者の責任」も自覚する必要があります。

ワーク それぞれの「責任」とつながりが深い事例をつないでみましょう。

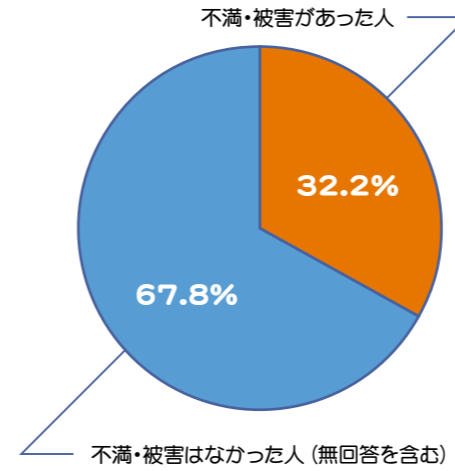
- ①批判的意識をもつ責任 ● ● ア、ブランド商品があまりにも安く売られていたので、偽物ではないかと疑問に思った。
- ②社会的弱者への配慮責任 ● ● イ、コンビニで購入した総菜に卵の殻が混じていたので、製造メーカーに抗議の手紙を書いた。
- ③主張し行動する責任 ● ● ウ、トラブル防止のために、利用者同士で交換・情報を共有するコミュニティを立ち上げることにした。
- ④環境への配慮責任 ● ● エ、渋滞解消のため、自家用車ではなく電車とバスを利用して外出することにした。
- ⑤連帯する責任 ● ● オ、チョコレートを買う時には、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みの「フェアトレード※」商品を選ぶように心がけている。

※フェアトレード（公平な貿易）とは、発展途上で生産された作物や製品を適正な価格で継続的に取引し、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。チョコレートやコーヒー、バナナなどの商品があります。

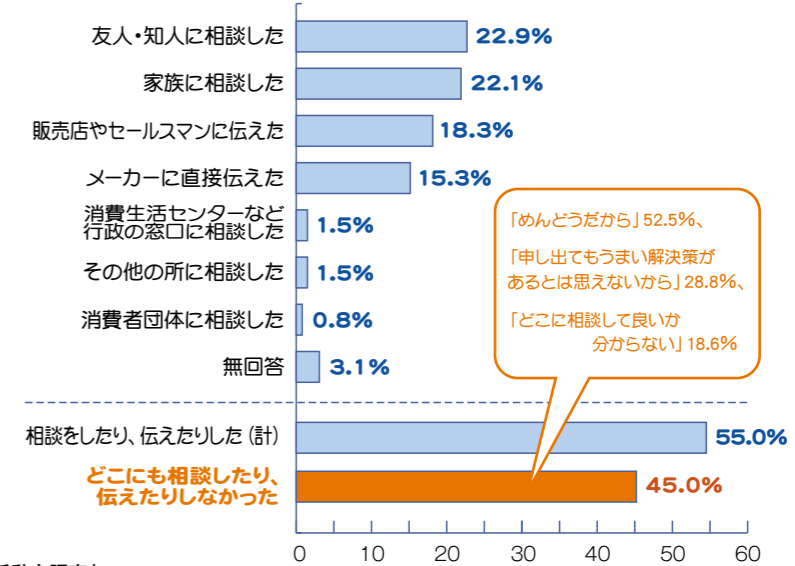
日本では、「消費者基本法」の中に消費者の権利が示されています。消費者の責任は国際的な消費者運動機関である国際消費者機構(CI)が提唱したものです。

下のグラフをみて、分かることをまとめてみましょう。

●この1年間で商品・サービスに対する不満・被害があった人の割合(20代)



●不満・被害があった人は、どのような対応をとったか?(20代)



「めんどくだから」52.5%、「申し出てもうまい解決策があるとは思えないから」28.8%、「どこに相談して良いかわからない」18.6%

(出所) 独立行政法人国民生活センター「第39回国民生活動向調査」
調査対象: 政令指定都市及び東京23区に居住する20歳以上69歳以下の男女6,000名、回収数3,180(有効回収率54.6%) 調査時期: 2011年5月～6月

グラフから分かることをまとめてみよう。

相談することの意味を考えてみよう。

●個人の視点

●社会の視点

消費生活センターに相談した達也のケース

投資用教材ソフトのローン返済に困った達也は、消費生活センターに相談してみました。センターの相談員は、達也の話を詳しく聞き、資料や契約書などを受け取ったかどうかを確認しました。

相談員によると、法律では、連鎖販売取引で契約した消費者は、書面を受けとった日から20日間はクーリング・オフができると定められていると説明されました。しかし、この業者の勧誘の仕方は特定商取引に関する法律に違反している恐れが高く、また、書面を一切交付していないという点も、法律違反だということでした。さらに、達也のように書面を受領していない場合は、今からでもクーリング・オフできると助言され、達也はクーリング・オフの手続きをしました。

→クーリング・オフの書き方は13ページへ

4-9`エ-④`レ-⑥`キ-②`エ-① 耳算の算基礎
4-9`キ-⑤`レ-④-⑥`キ-②`エ-① 陸算の算基礎 ぞろぞろ

